



吉田重弘  
(宮の森大倉山連合町内会会長)

板垣光夫  
(南円山連合町内会会長)

児玉美也子  
(イラストレーター)

三上恒  
(円山町内会連合会会長)

酒井裕司  
(円山動物園園長)

## 60周年の節目に考える、動物園と地域のこれから

南円山・円山・宮の森大倉山地区のちょうど真ん中に位置する円山動物園は、今年で60周年。地域に暮らす人、子どもの頃から熱心に通う人、そこで働く人……様々な立場から見た動物園の魅力とこれからのこと。



**円**山動物園の夏の風物詩と言えば「夜の動物園」。日中は見ることのできない動物たちの姿が人気だが、実は朝の動物園にも、日中では見られない人や動物の活動がたくさん。ということで、昨年、一昨年と中央区民講座で開催された「朝の動物園ツアー」を、今回『まちのモト』企画として一日だけ復活。長年慣れ親しんだ動物園の、いつもと少しだけ違う風景を眺めながら、それぞれにとっての動物園を振り返るところから話は始まった。

**酒井**:動物園は今年で60周年を迎えました。元々のきっかけは、1950年に坂下グラウンドで開催された移動動物園。当時、上野動物園のゾウのインディア人気がすごくて。全国から手紙が殺到したので、ゾウの他にライオンや猿などを連れて、移動動物園として各地を巡ったんです。それが7月の7日から13日まで札幌に来たんです。

**吉田**:当時私は小学生だったのですが、南幌町から移動動物園を見に来ましたよ。

**酒井**:近隣の市町村の中には2,000人も小学生を列車に乗せて、先生が引率してきたところもあったようです。開催した1週間で19万人が訪れて、場内は迷子の放送がなりっぱなし。三越が第二会場になっていて、そこでは剥製展が開催されまし

た。この移動動物園がかなり盛り上がったので、札幌にも動物園を作ろうということになって、翌1951年に北海道では初、全国では10番目の動物園として開園しました。

**児玉**:私は3、4歳の頃からずっと通っています。祖父との毎週土曜日のデートコースが動物園だったんです。ここで実際に見たり触れたりしたことを、イラストで伝えたいと思っているので、今でも毎月来ています。

**三上**: (動物のイラストを見て)これだけ精緻に描くのはすごいですね。僕らも、子どもが小学生くらいの頃までは、よく連れてきましたよ。でも子どもが大きくなってからは、やっぱり足は遠のいたなあ。



児玉さんが持参したイラスト。動物の自然な姿を見るため「夜の動物園」にも必ず足を運ぶそう。

**板垣:**自分の子どもたちも、3日もあけずに動物園に遊びに来ていたんじゃないかな。僕は看板塗装の仕事をしていたから、ここには仕事で来ることがほとんどだった。そう言えば、二股ラジウム温泉で湯治をしていたゾウの花子は、円山動物園にいた花子ですか？

**酒井:**いえ、旭山動物園にいた花子です。当時ゾウの名前は、花子が多くて、円山動物園の花子は、1953年にやってきました。桑園の駅でトラックに乗せようとしたら、傾いてしまって無理だということで、駅から歩かせて連れてきたそうです。子どもが後ろ



酒井園長の豊富な動物話に、一同普段以上に動物園を満喫。オオカミ舎2階のスペースにて。

からぞろぞろついてきて、動物園に着いたときには50人にもなっていた(笑)。家に帰るのが大変だったそうですよ。今ゾウを飼うとしたら、生態に合わせて群れで飼育しないとイケないので、もっと大きい施設が必要ですね。

**板垣:**円山を使うのはどうでしょう？ゾウは無理としても、山を利用して、自然の中に動物がいるような形にするのもいいですよ。

**酒井:**円山の登山道の隣が、動物園の森になっていて。土日と水曜日の午前と午後1回ずつ、ガイドをつけて森を散策するメニューを実施しています。動物だけでなく、植物も楽しむことができますよ。

## 町内会と動物園の関係が密に

**吉田:**今はイベントなども増えて、動物園のイメージも変わってきていますね。町内会と動物園の関係も、以前と比べるとすごく密になってきた。町内会の方がボランティアで来たり、地域のウォーキングイベントのコースに入っていたり。

**酒井:**遅ればせながら、町内会費も払わせて頂くようになりましたので(笑)。

**三上:**町内会連合会としても、円山動物園と何かしら接点は持

ちたいと思っています。動物を見ると言うよりは、敷地内の建物を利用する形になるのかもしれないけど……動物園がこれからのような形で、子どもたちは遊具で遊びながら動物も見ることができるといふ今までの方向で行くのか、あるいは動物が自由に動いているような、動物主体の動物園にしていくのか。

**児玉:**私は自然な状態の動物を見たい。この動物園は、学習の場でもあると思うんです。自分も子どもの頃、動物のスケッチをしていましたが、今でもそういう子どもたちをよく見かけます。単なる観光の場にはなってほしくないな。

**酒井:**円山動物園の役割として、いくつか目指しているところはあります。身近な動物園として自慢してもらえるような場所になることや、絶滅危惧種を繁殖させて守っていくこと。それに加えて、町内会や商店街などとも連携して、地区全体を活気づけるお手伝いもしていきたい。先日近隣の小学校に行ったときに、ここの動物を描いた子どもたちの絵をたくさん見かけて。私たちは地元を支えられていることを、改めて感じました。今後も地域の皆様とは、親密な関係でありたいです。

**板垣:**今だと、動物園の南側からは入れないでしょう？そちらにも入口があると、双子山町内会や界川町内会の人たちにとっては、だいぶ行きやすくなるんですね。動物園が将来、もう少し南の方に広がってくれたら、地域ともっとつながりが

できていいなあと夢を持っています。

## 思い出が次の世代につながっていく場へ

**吉田:**最近では、動物の赤ちゃんの話題なども積極的に出して、注目を集めていますよね。そういう働きかけは大切だと思います。あとは、子どもたちもただ見るだけじゃなくて、そこに飼育員の説明があるかないかで、大分印象が変わると思う。家に帰ってから子どもが動物のことを親に話せば、「じゃあ今度は家族で行こうか」ってなりますし。そうやって、子どもからお年寄りまでいろいろな人が足を運ぶような場所になってほしいですね。

**三上:**説明を聞きながら見て回ると、本当に楽しかったですね。私たちがすぐそばに住んでいるのに、知らないことがたく

さんありましたから。子どもたちがここで楽しい思い出を作ることができれば、今度はその子どもたちが親になったときに、自分の子どもを連れていく。そうやって、楽しい思い出がどんどん次の世代につながっていくような、息の長い魅力ある動物園になってほしいですね。

**円山動物園** <http://www.city.sapporo.jp/zoo/>

札幌市中央区宮ヶ丘3番地1 TEL 011-621-1426

開園時間：2月1日～10月31日 9:00-17:00

11月1日～1月31日 9:00-16:00

休園日：12月29日、30日、31日

入園料：年間パスポート(高校生以上)1,000円/

大人(高校生以上)600円/

中学生以下無料/

団体(30名以上)540円

## 朝ツアー中の一コマをご紹介します。

朝の動物園には、開園中に見かけないトラックやお掃除中の人たちなど、日中とは違う風景があります。

にわたりのひなのエサを準備中。ちなみにリスザルのエサだと全部細かく切るのに大体40分くらいかかるそう。



開園前は掃除の時間。左は一見吸い込み式の掃除機に見えるが、落ち葉を吹き飛ばすためのもの。



毎朝7時半頃から、倉庫に保管してあるエサやおやつを各施設に配達してまわる。ちなみに、多くの動物の好物はリンゴとのこと。